

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)共栄製茶木津川開発事業センター新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境							0.32		-	3.0
1 音環境						3.6	0.15		-	3.6
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						4.2	0.40		-	
1 開口部遮音性能		サッシ遮音性能:T-2				5.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									-	
1.3 吸音		吸音材を2面(床・天井)に使用				4.0	0.20		-	
2 温熱環境						2.0	0.35		-	2.0
2.1 室温制御						3.0	0.50		-	
1 室温						3.0	0.38		-	
2 外皮性能						3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20		-	
2.3 空調方式						1.0	0.30		-	
3 光・視環境						3.5	0.25		-	3.5
3.1 昼光利用						3.0	0.30		-	
1 昼光率						3.0	0.60		-	
2 方位別開口									-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30		-	
1 昼光制御						3.0	1.00		-	
3.3 照度						3.0	0.15		-	
3.4 照明制御		1作業単位・リモコンスイッチで制御可能				5.0	0.25		-	
4 空気質環境						3.5	0.25		-	3.5
4.1 発生源対策						3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質						3.0	1.00		-	
4.2 換気						3.3	0.30		-	
1 換気量						3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上				4.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33		-	
4.3 運用管理						5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						-			-	
2 喫煙の制御		館内は全面禁煙				5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能						-	0.30		-	3.0
1 機能性						2.8	0.40		-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ						2.6	0.40		-	
1 広さ・収納性						3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応						1.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画		誘導基準を満たしている。				4.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観		天井高は2.7m以上、十分な窓の設置				4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースは執務面積の1%以上				4.0	0.33		-	
3 内装計画						1.0	0.33		-	
1.3 維持管理						3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種以上にB以上を使用しEは不使用				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.2	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						1.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30				3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30				
1	階高のゆとり	階高は3.9m以上	5.0	0.60				
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.1	4.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40				
1	空調配管の更新性		3.0	0.20				
2	給排水管の更新性		3.0	0.20				
3	電気配線の更新性		3.0	0.10				
4	通信配線の更新性		3.0	0.10				
5	設備機器の更新性		3.0	0.20				
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)				0.38				2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30				3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50				
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.5
LR1 エネルギー				0.40				3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPIm=0.67	5.0	0.04				5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.12				3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.68	4.2	0.60				4.2
4 効率的運用			3.0	0.24				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制		3.0	0.50				
集合住宅の評価								
4.1	モニタリング							
4.2	運用管理体制							
LR2 資源・マテリアル				0.30				3.2
1 水資源保護			3.4	0.20				3.4
1.1	節水	節水コマなどに加えて省水型機器(節水型便器)を採用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60				3.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		天井ロックウール化粧板	3.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		再利用可能ユニット部材(OAフロア)の採用	4.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70				
1	消火剤		-	-				
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50				
3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境				0.30				3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率82%	3.7	0.33				3.7
2 地域環境への配慮			3.5	0.33				3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の設置はない	5.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25				
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25				
3	交通負荷抑制	十分な駐車スペースの確保等	5.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1	騒音		3.0	1.00				
2	振動		-	-				
3	悪臭		-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40				
1	風害の抑制		3.0	0.70				
2	砂塵の抑制							
3	日照障害の抑制		3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.0	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70				
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				